

# 事業評価シート（平成24年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	次期環境事業センター整備事業		
事業担当	環境部 環境施設課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'03	③〈循環型社会〉循環型社会をめざして環境負荷の少ない暮らし方を定着させる	
	'02	2 ごみの排出を抑制し、資源化を進める	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 他		
対象・受益者	市民	事業期間	～ 平成25年度
委託、協働	【委託： 3セク・財団 ○企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
次期環境事業センターの建替えが行われ、安定したごみ処理ができ、ごみ処理による余熱の有効利用が図られています。		安全で安定的なごみ処理をしていくため、環境事業センターの建設を進めます。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	次期環境事業センター整備事業進捗率			単位	%
	説明・算定式	平成25年度を100%とした事業進捗率。H22:工事等2%、H23:工事等10%、H24:工事等71%、H25:完成17%（平成24年度から）				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標			83	100	
	実績			82		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成24年度の主な取組と成果						
整備スケジュールに沿って建設工事を進め、予定していた出来高を上げることができました。						
平成24年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市民ニーズ</li> <li>■ 事業目的の達成状況</li> <li>■ 市の関与の必要性</li> <li>■ その他</li> </ul>	現在の焼却施設については、老朽化から施設更新が必要です。そのため、安心して安全な焼却施設を早期に整備する必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高</li> <li>○ 低</li> </ul>
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 上位施策への貢献</li> <li>■ 市民満足度を高める方策</li> <li>□ 継続による成果向上の可能性</li> <li>■ その他</li> </ul>	ごみ処理については、一時の停滞も許されないことから、計画的かつ確実な施設整備が求められています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高</li> <li>○ 低</li> </ul>
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業の目的、対象、内容</li> <li>■ 受益者負担、補助額</li> <li>□ 業務の執行体制(人員配置、業務分担)</li> <li>■ その他</li> </ul>	循環型社会への貢献及びごみ処理の広域化計画に基づいた計画施設としています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高</li> <li>○ 中</li> <li>○ 低</li> </ul>
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 業務プロセス改善による効率化の方策</li> <li>■ コスト削減の可能性</li> <li>■ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討)</li> <li>■ その他</li> </ul>	準PFI的手法である「DBO」方式を採用することにより、建設コストの削減や施設運営の長期の委託により、効率化を図っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高</li> <li>○ 中</li> <li>○ 低</li> </ul>
今後に向けた課題の分析				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		実施設計、建設	建設	建設	建設、試運転
財源内訳	国庫支出金	70,230	466,902	3,685,611	53,550
	県支出金	23,787	36,550	100,000	94,918
	起債	120,000	488,800	3,372,100	1,469,200
	その他 特財	8,683	69,348	760,422	351,286
	一般財源	40,207	217,360	109,422	131,866
事業費 (A)		262,907	1,278,960	8,027,555	2,100,820
執行率 (%)		100.00	99.77	100.00	
内訳	職員 (人)	1.60	1.90	1.90	1.50
	再任用 (人)	0.50	0.50	0.00	0.00
人件費 (B)		14,919	17,079	15,229	11,922
フルコスト (A+B)		277,826	1,296,039	8,042,784	2,112,742

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	
課長コメント	